

1 わたしたちの北海道

わたしたちの住む北海道は、地図で見るとどのような様子なのだろう。

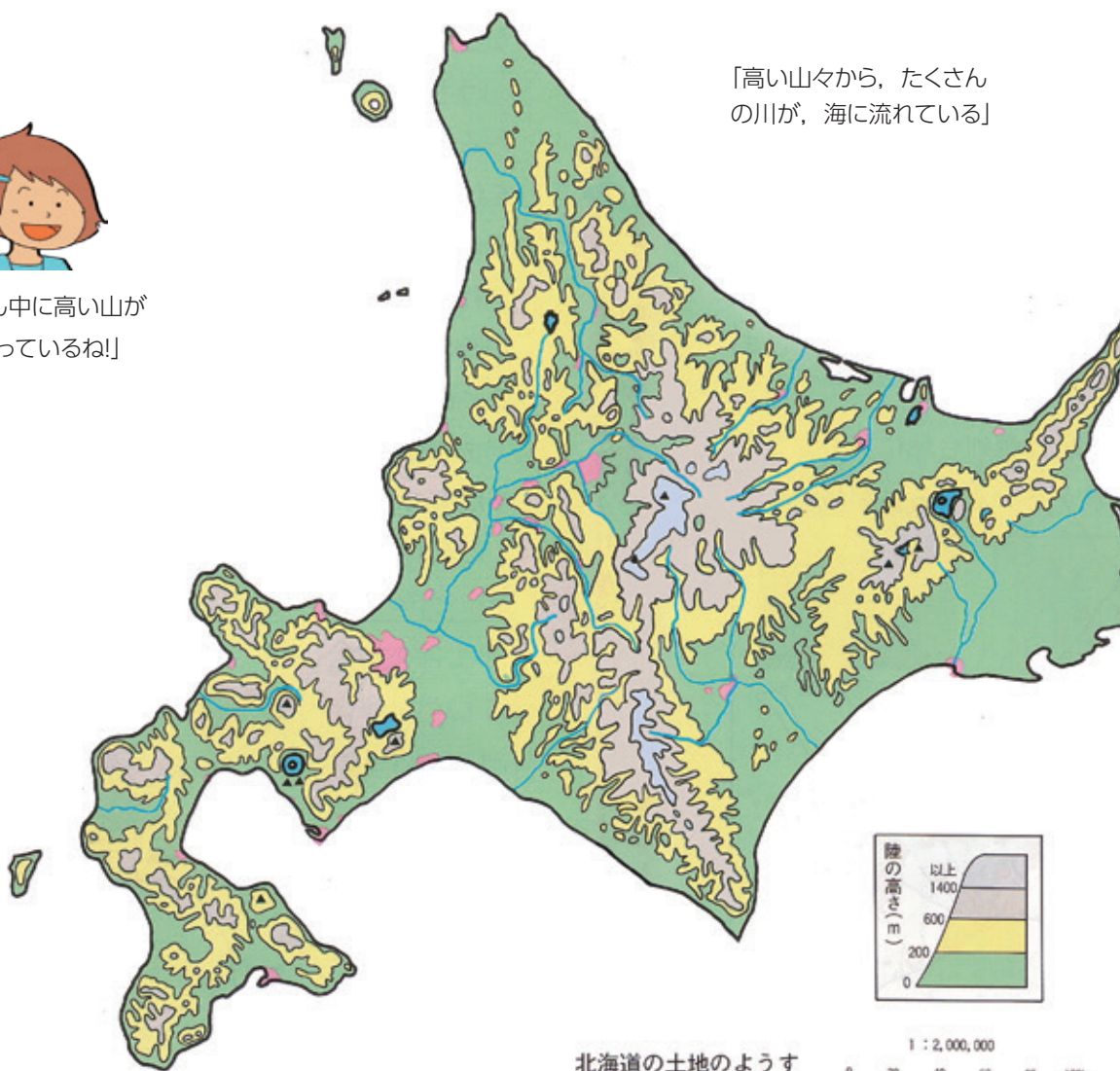
1 地図を広げて 北海道の地図を見てみよう

みさきさんたちは、北海道の土地の様子を、地図帳や地図もけいを使って調べてみました。



「真ん中に高い山が
つな^つなっているね!」

「高い山々から、たくさん
の川が、海に流れている」



北海道の土地のようす

次に、みさきさんたちは、先生のアドバイスにしたがって、北海道の土地の様子を、白地図に等高線にそって、土地の高さごとに色わけをしました。



けっこうたいへんな作業だけど、色をぬっていくと、土地がどう使われているか、よくわかるわ。



資料「立体もけいのつくりかた」



①北海道の形を紙にうつしとり、白地図をつくります。



②地図で高い山や土地、川などを調べ、ねん土をおいていきます。



③高い山、少し高い土地、平野というように色をぬり分けていきます。市や町の名前なども書き入れてみましょう。





大雪山の山々

土地の高さが一番高い所は中央部にあり、大雪山の山々は「北海道の屋根」とよばれています。そこから石狩川や十勝川、天塩川が流れ出し、川の流れにそって平野が広がっている様子がわかります。

北海道の土地は、どのように使われているのだろう。



また、中央部には山地にはさまれて名寄、上川、富良野などの盆地があります。

道東には、釧路平野、根釧台地が広がっています。

海ぞいや川ぞいの平らな土地は、田畑や工場、住宅地、店などの市街地になり、札幌のように主な都市は、平らな土地にあり人が集まっています。

しかし、特に低い所は、水はけが悪く、土地もやせていて、利用されていないところもあります。高い所は、ほとんどが森林と、利用されていない土地ですが、国立公園などに指定されている所もあります。

十勝平野の畑作
(下左)と
摩周湖(右)

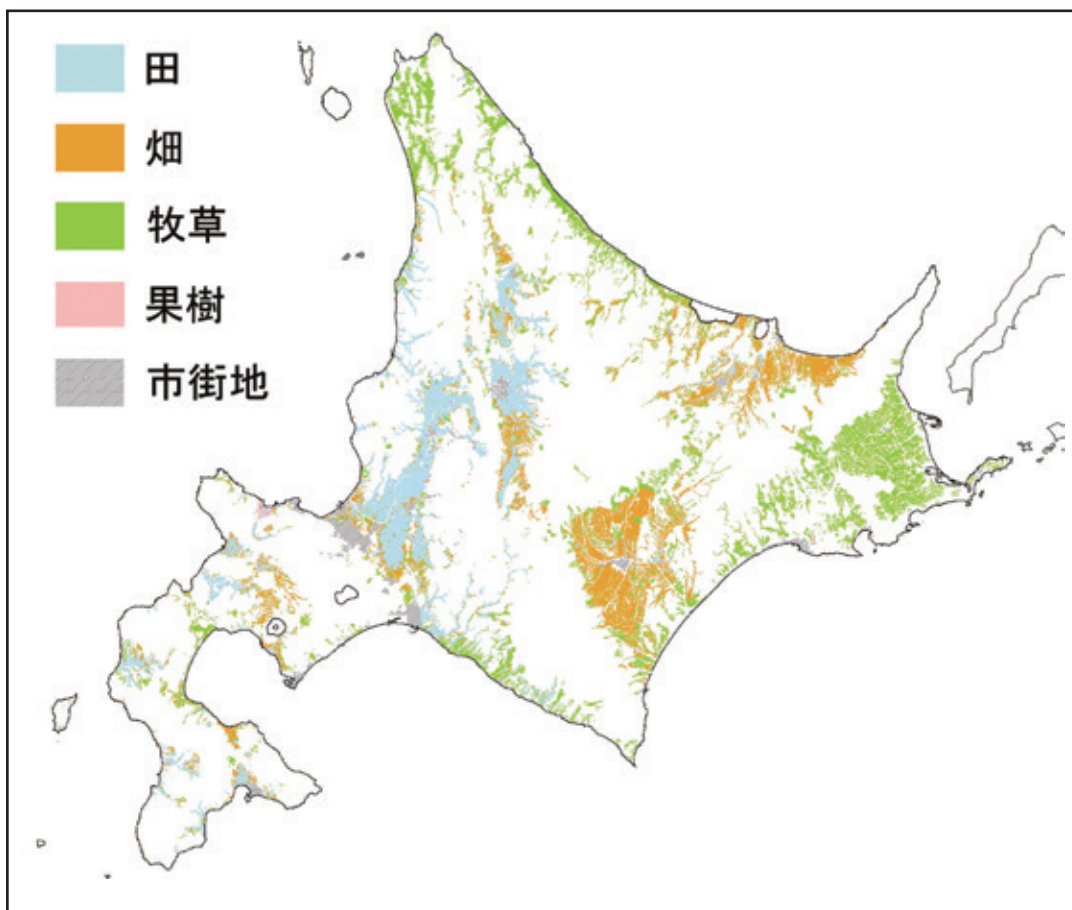


次に、地形を調べたやすこさんたちは、
資料^{しりょう}をもとに、土地の利用の仕方をたしか
めました。



田や畑や牧草地が多いわね。
何をつくっているのかしら。

平野～ひくくて平らな土地
台地～少し高くて平らな土地
盆地～山にかこまれ平らな土地
山地～山の多い土地
山脈～山地の中でも、高い山が
連なっているところ



都市はどんな所にあるのかな。

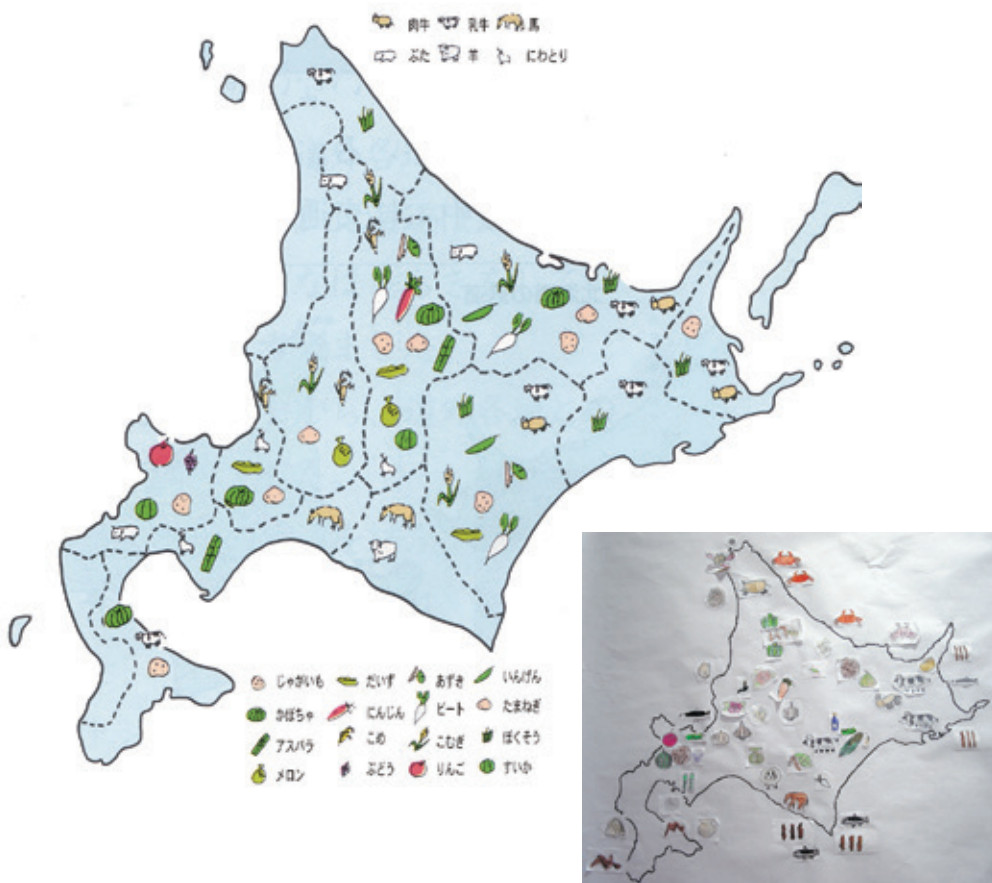
山地などの土地は、あまり利用
されていないね。



P18~19

みさきさんたちは、先生から北海道は農業や水産業がさかんであることを聞きました。そこで、北海道のどこで、どのような農産物がつくられ、どのような水産物がとれているのか、地図や資料で調べて、絵カードに記入し、地図にまとめました。

北海道の主な農産物



「畑は、各地に広がっているね。特に十勝平野は畑作が中心だね。」



「田は、石狩平野や上川盆地に広がっているね。」

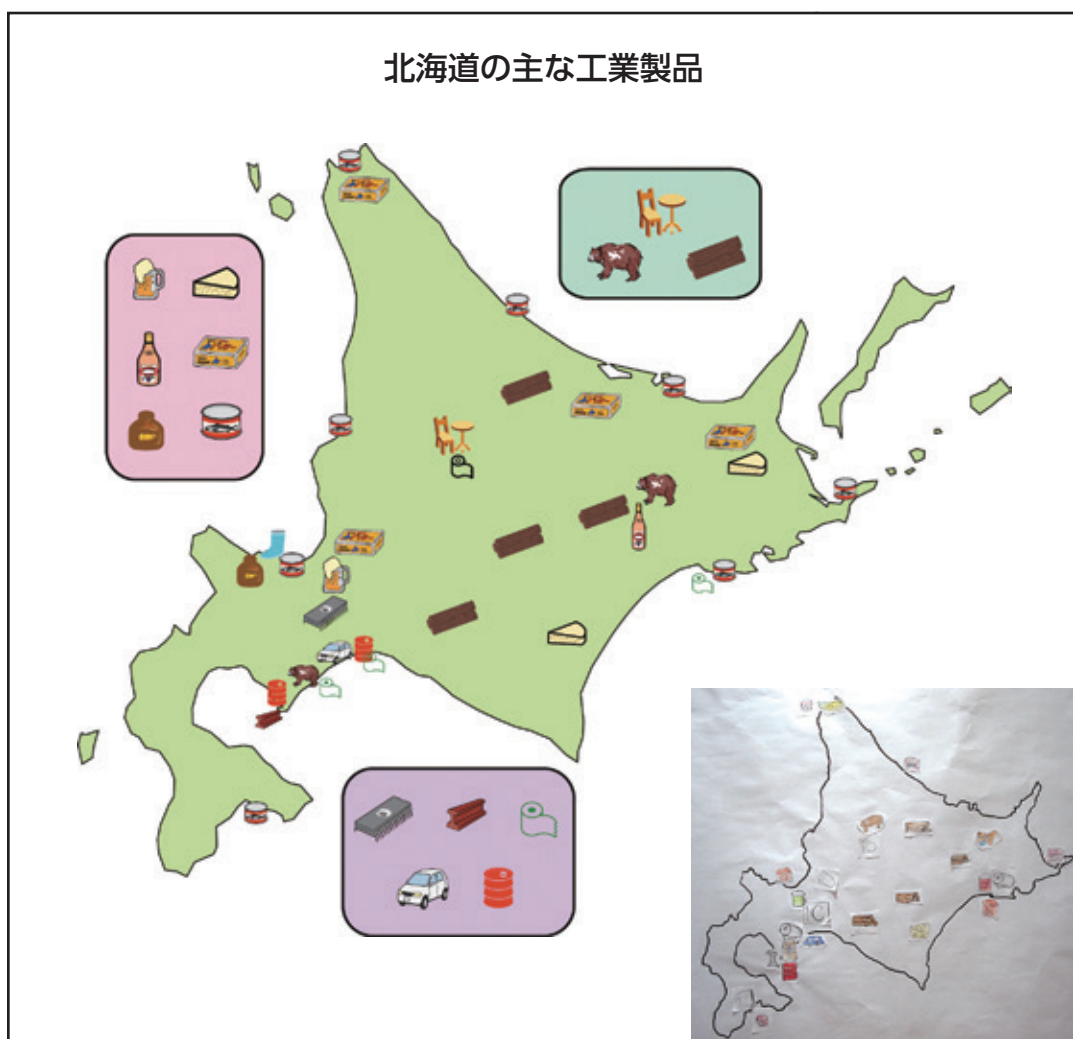
工業がさかんな地域

次に、ふうたさんたちは、北海道の工場で作られている製品についても調べて、地図にまとめました。

北海道のどこで、工業がさかんなのだろう。



北海道の主な工業製品



水産加工品や、^{らくのう}酪農を生かした製品がたくさんみつかったよ。

^{ほうふ}豊富な森林をつかった木材の加工や、港を生かした工場などもあったわ。



北海道の交通は、
どのように広がっ
ているのだろう。



北海道の交通の様子

ななみさんたちは、北海道の交通の様子を知るために、自分たちの住んでいる室蘭市をもとにしながら地図旅行を考えました。

そこで、市の交通の広がりを調べました。室蘭は、鉄道や国道・高速道路があります。

次に、北海道の交通図を見ながら鉄道や道路の広がり、主な港や空港についても調べてみました。

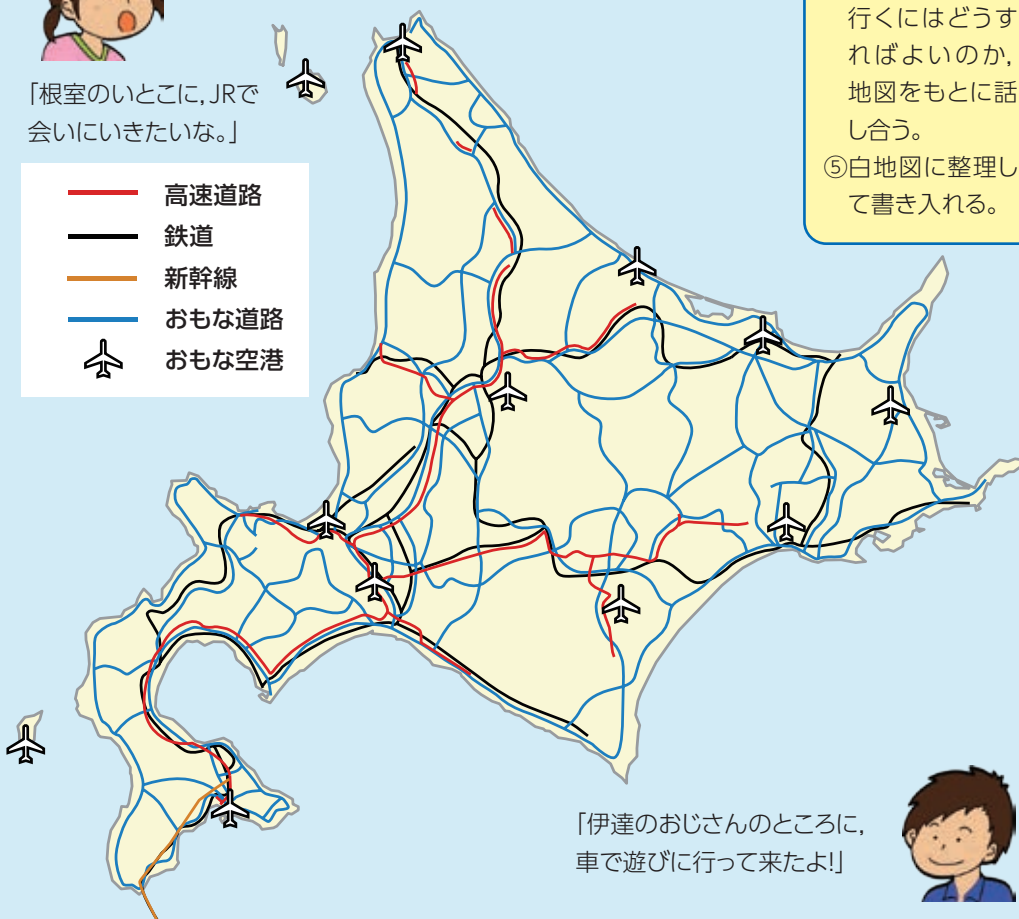
地図旅行の遊び方

- ①室蘭市を地図で見つける。
- ②白地図に室蘭を書き入れる。
- ③道内の行ってみたい場所を地図でさがし、白地図に書き入れる。
(絵はがきや写真があればはる。)
- ④行きたい場所に行くにはどうすればよいのか、地図をもとに話し合う。
- ⑤白地図に整理して書き入れる。



「根室のいとこに、JRで
会いにいきたいな。」

- 高速道路
- 鉄道
- 新幹線
- おもな道路
- ✈ おもな空港



「伊達のおじさんのところに、
車で遊びに行ってきたよ!」





高速道路



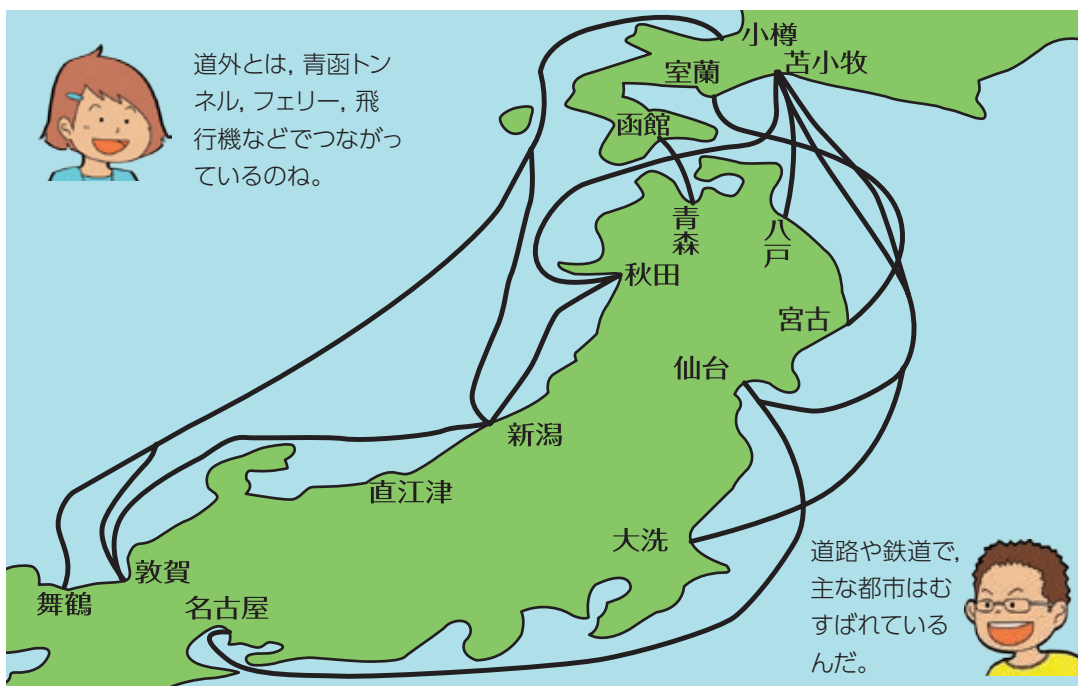
都市間バス



大型トラックによる輸送



特別急行列車



主なフェリー航路



ほっほうりょうど へんかん きねん
北方領土返還祈念シンボル像

《北方領土を返して！》

ななみさんたちは、北海道の漁業を調べていくうちに、日本とロシアとの間に、北方領土という、未解決の問題があることがわかりました。そこで、根室振興局の方に電話で、お話をうかがうことにしました。

根室半島の納沙布岬から見える択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島の四島は北方領土とよばれ、もともと日本の領土です。

太平洋戦争で、ソビエト連邦（現ざいのロシア連邦）に占領され、今はロシア連邦が占領していますが、日本は、この北方領土の四島の返かんを強く求めています。



よく晴れた日には、^{の さつ ぶ みさき} 納沙布岬から^{こ きょう くなしり} 故郷の国後島がすぐ近くに見えます。四島には、私たちがもともと住んでいた村や家があって、豊かな漁場^{りょう}で漁をしたり、水産物の加工工場^{すいさんぶつ か こうこうじょう}で働いていました。それが、戦争後、きょうせいの的に引き上げさせられました。

家族のおはかを残してきたので、1日も早く、四島に帰ってくらすのが私たちの願いです。



ほっぽうりょうど 北方領土での暮らしの様子（写真はクジラの解体作業とこんぶほし）

最近では、以前に北方領土でくらしていた日本人たちが、北方領土をたずねたり、これらの島々に住むロシア人たちが根室地方をおとずれたりするなど、熱心に交流を進めています。

北方領土の問題については、日本とロシアで、その解決に向けて話し合いを重ねており、四島に近い根室地方の人たちや全国の多くの人たちが、1日も早く、この問題が解決されることを願っています。



くなしり 国後島での青少年による交流会

写真提供：北方領土問題対策協会・千島齒舞諸島居住者連盟